

平成30年度 高校生のためのボランティア養成講座①

平成30年7月24日（火）

今年度も、6校40名の高校生と20名の保護者の参加による「ボランティア養成講座」が、大笹生学園の多目的ホールをお借りして開催しました。

開講式のあと、本校教諭 石井忠一先生より「障がいのある子どもとのかかわりかた」と題した講座があり、一生懸命メモを取ったり、軍手をしてあやとりや折り紙をする演習などに取り組んだりしました。

高校生と保護者とのグループトークでは、子育ての大変さやかかわり方などを質問したり、具体的な子どもとの場面を通して質問に答えたりして、9グループがそれぞれに熱心話し合いました。

参加者の感想からは、また参加したいとの声もあり、成果の多い講座であったと感じました。



【講座の様子】



【軍手をして鶴を折る様子】



【軍手をしてあやとりをする】



【割り箸パズルの演習】

【グループトークの様子】



参加者の感想より

<高校生より>

○私たちが当たり前に出ていることは、当たり前じゃないことということが分かりました。

○一人ひとりが個性を持っているので、その個性を引き出していけるように接していきたいと思います。

○同じ目線でゆっくり、わかりやすく話すことや、こわがらずに普通に接するというアドバイスをもらったので、夏祭りで生かしたいです。

○いろいろな話が聞ける機会がなかなかなかったので、来てよかった、参加してよかったです。

<保護者より>

○軍手を使った演習は、すごく勉強になりました。たくさんの人に障がいを知ってもらえてよかったと思います。

○参加した高校生が障がいについて勉強していて感心しました。もっとたくさんの方たちに感心をもってもらいたいなと思いました。

○太陽祭、高校生がもう少し活躍できる場があるといいなと思います。人数が多いので、子どもたちの近くにいてもいいと思います。

○高校生の将来が本当に楽しみだなあと感じました。目標をもって参加されていて、素晴らしいなあと感じました。